

## 履修証明プログラムの公表事項

### 「医師のための臨床研究遠隔学習プログラム—MCR コース extension」

プログラムの名称	医師のための臨床研究遠隔学習プログラム —MCR コース extension			
プログラム担当 代表者（所属）	中山 健夫 (医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野)			
プログラムの目的及び内容 1) 目的 2) 内容（編成方針等） 3) 修了後に身に付く能力 4) 証明を行う社会的意義	1) 遠隔学習による、臨床研究の領域で活躍する医師の育成 2) 録画講義の視聴、Web 会議、ワークショップで構成される 2 年間のプログラム 3) 臨床研究のリテラシー・研究デザインを習得し、臨床研究を実践できる 4) 臨床研究に取り組む臨床医の増加、より良い医療のためのエビデンス創出とその活用の推進			
プログラムの総時間数及び修了に要する時間数	総時間数：130～140 時間（H26 年度開始時点では 122 時間を準備し、順次追加予定。）修了に要する時間数：120 時間			
履修資格	卒後 4 年目以上の臨床経験のある医師で、これまでに臨床研究、疫学、統計学の系統的学習を行ったことがないもの。ただし、京都大学、京都大学関係病院在籍者は履修資格を持たない。			
募集定員	10 名程度			
開始時期	平成 27 年 4 月 1 日			
修了要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義・講習を 2 年間で 120 時間以上履修すること</li> <li>・ 試験、研究プロトコルにおいて一定以上の評価を受けること</li> <li>・ 必修項目の全ての受講（ただし、病欠などやむをえない場合の欠席は、それに相当する課題の提出や録画コンテンツの履修を課す）</li> </ul>			
<b>開講科目等（内容、講習又は授業の方法）</b>				
講習又は授業科目名	講習、授業形態	全時間数	開講部局	担当教員等（所属）
臨床研究デザイン総論（必修）	講義	9	-	福原 俊一（医療疫学） 福間 真悟（京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター）
医療統計（必修）	講義	8	-	山本 洋介（京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター） 福間 真悟（京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター） 田中 司朗（薬剤疫学）
疫学基礎（必修）	講義	4	-	福原 俊一（医療疫学）
医療倫理（必修）	講義	4	-	川村 孝（予防医療学） 中山 健夫（健康情報学） 小杉 真司（医療倫理学、遺伝医療学）
文献検索法（必修）	講義	2	-	中山 健夫（健康情報学） 未海 美穂（医療疫学）

				清水 さやか (医療疫学)
リーダーシップとマネジメント (必修)	講習	12	-	高尾 義明 (首都大学東京)
ライブディスカッション (必修)	講義	22	-	福原 俊一 (医療疫学) 未海 美穂 (医療疫学) 清水 さやか (医療疫学)
臨床研究デザインワークショップ (必修)	講習	36	-	中山 健夫 (健康情報学) 未海 美穂 (医療疫学) 清水 さやか (医療疫学)
調査研究法 (選択)	講義	2	-	脇田 貴文 (関西大学 社会学部) 竹上 未紗 (国立循環器病センター)
EBMにおける系統的レビュー: 系統的レビューを使いこなそう (選択)	講義	3	-	古川 壽亮 (健康行動・増進学)
データベース研究基本編 (選択)	講義	4	-	川上 浩司、田中 司朗 (薬剤疫学)
臨床試験 (選択)	講義	6	-	田中 司朗 (薬剤疫学)
医療の質研究 (選択)	講義	未定		今中 雄一 (医療経済学)
EBM・診療ガイドライン (選択)	講義	2	-	中山 健夫 (健康情報学)
診断法の評価 (選択)	講義	4	-	杉岡 隆 (佐賀大学)、野口 善令 (名古屋第二赤十字病院)
QOL/PRO 評価法 (選択)	講義	2	-	福原 俊一 (医療疫学) 山本 洋介 (京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター)
研究メンタリング	講義	1	-	Mitchell D. Feldman (University of California, San Francisco)